

東北ヘルプ 現地報告 台風19号 被災状況～角田市・丸森町

以下は、10月16日・17日の現地での様子や聞き取りなどによる情報です。

[丸森町]

町の中心部が床上浸水被害。被害にあい、ボートで助けられた方のお話しでは、胸上までの高さまでになったところを助けられたとのこと。

町内では複数の死者、行方不明者が出ている。町の職員の話では、約300人が避難所で避難生活をされている。山間部の地域では、まだ、孤立した集落・人々がおり被害の全貌はわかっていない。

断水状態が続いている。給水所5か所。電気は、浸水や道路の寸断などで復旧作業が困難な地域を除き、復旧している。町にスーパーは少ないが、車があれば30分位の範囲にスーパーがあり買い物ができるとのこと。

町立丸森病院（町でただ1つの総合病院）は浸水したので、当面外来を休診。各地から医療関係者の応援が来ている様子はある。

町中心部の水は引いたが、道路わきには泥が大量に残っている。住民は断水している中、浸水した家の大変な泥かき、片付け作業をしていた。

また、乾いて土ぼこりも舞いあがっている。丸森町は、福島第一原発事故による放射能汚染がひどかったところであるので、これは、単なる泥や土ではなく、“放射能汚染された泥、土”と推測され、その片付けに高校生など、若者が作業をしている姿を見ると言葉では表せない思いになり、憤りを感じた。

[角田市]

床上・床下浸水被害。床上浸水は場所により、大人の背の高さまでになった所あり。浸水の程度はまちまちだが、広範囲である。阿武隈川のいくつかの支流の氾濫により浸水したとのこと。住民の話では、本流の阿武隈川も堤防ギリギリまで増水したとのこと。

市の職員の話では、約120人が避難所で避難生活をされている（10/16現在）。電気・水道・ガスなど復旧している。スーパーは開いている。

住民は浸水した家の大変な片付け作業をしていた。乾いて土ぼこりも舞いあがっている中、作業をしていた。

17日の丸森町役場付近は警察、自衛隊など人が多くいて、ヘリコプターの音も頻繁にしていた。避難所では段ボールベットが搬入中（写真あり）で、数局の報道関係者も入って、しかし、住民そっちのけの、ものものしい雰囲気にも包まれていた。そして、夜のニュースで、その避難所を安部首相が視察した映像が流れた……。